

SHIRAKOBATO

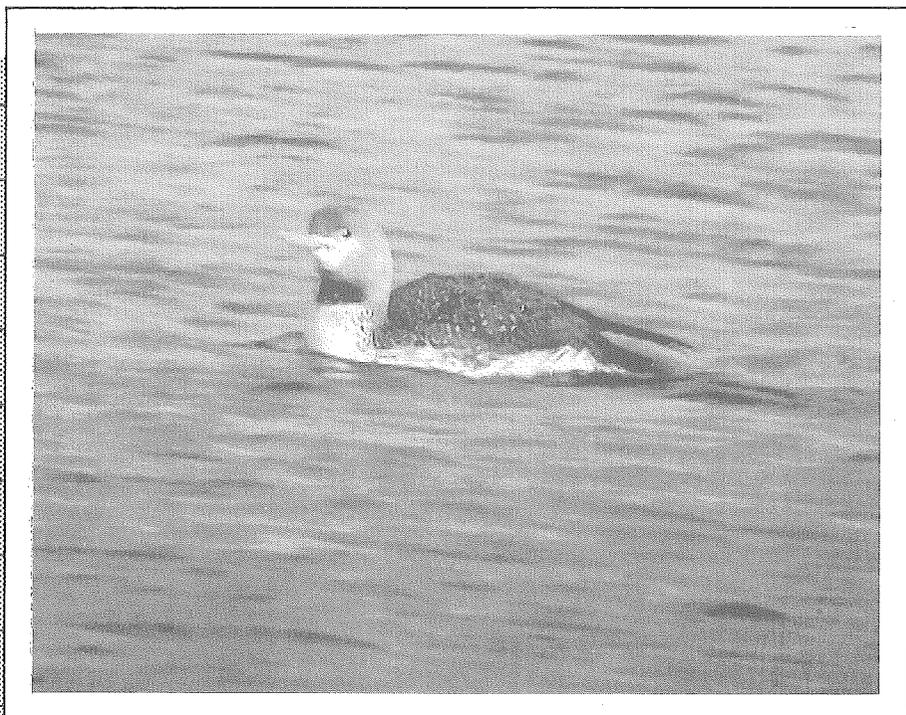
しらこぼと



1997. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 156

日本野鳥の会 埼玉県支部

「フレッシュしろこぼと」チームをよろしく

昨年お休みだったバードソン、今年はバードウィーク中の5月11日(日)の午前5時から午後5時までの12時間に開催されます。埼玉県支部の公式チームは、「リブラン・フレッシュしろこぼと」。「フレッシュ」と「しろこぼと」の間に「？」マークをつけるべきだという意見もありますが、既に「？」なしで名称登録してしまいました。もう変えられません。

〔バードソンとは〕

バードウォッチング・マラソンの略で、一定時間内に何種類の野鳥を確認できるかを全国のチームが競い、種類数に応じた募金を集めるチャリティイベントです。

チームは4人一組。確認野鳥種類数・募金応募者数・募金額の合計で総合順位が決まります。前回の埼玉県支部チームは、募金応募者数で2位、募金額で3位、総合8位の好成績でした。

〔募金の方法は〕

①あらかじめ1種当たりいくら寄付するかを申し出ておいて、後日「チームの確認種数×その金額」を送っていただく方法と、②チームの確認種数に関係なく、あらかじめ一定金額を募金していただく方法と、2種類あります。①②とも、予想種類数を書く欄がありますが、募金額は「予想種類数×1種当りの金額」ではありません。的中すればビタリ賞(特製バードソン・バッジ)が貰えるので、そのために書く欄です。

〔募金の目的は〕

今回の目標金額は2,000万円(募金者目標は1万人)。約1,500万円を里山の自然と野鳥を守るために活動しているNGO(野鳥の会支部とその他の非営利団体)の支援に使って、500万円を野鳥の会の野鳥保護基金に繰り入れて、里山保護のために使う予定です。

参考までに、過去のバードソンによる成果をご紹介します。

●1986年～1987年、計3,000万円、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリを開設。

●1989年～1991年、計4,600万円、「野鳥を科学する基金」設立により、ツルの渡りルート解明に貢献。

●1992年、2,100万円、オオセッカ保護のため、青森県仏沼湿原35,000㎡を買い上げ。

●1993年、2,100万円、鹿児島県出水水平野に環境教育圃を作る資金として留保中。

●1994年～1995年、3,200万円、「野鳥保護基金」を充実。

数々の実績を残して、今年は10回目の記念すべきバードソンです。

〔チームメンバーご紹介〕

キャプテン：工藤洋三



大きな身体でやさしい笑顔、最高のまとめ役。大宮市民の森などを担当しています。

記録担当：玉井正晴



黒浜沼などで、「ほらあそこにいるよ」と教えてくれる声が頭上から聞こえる背の高い人。

メンバー：倉林宗太郎



自分のフィールドでの出現鳥をよく知らせてくれます。三室などを担当しています。

メンバー：藤掛保司



土日の探鳥会には必ず参加しているやたら鳥好きの人。担当は入間川など。

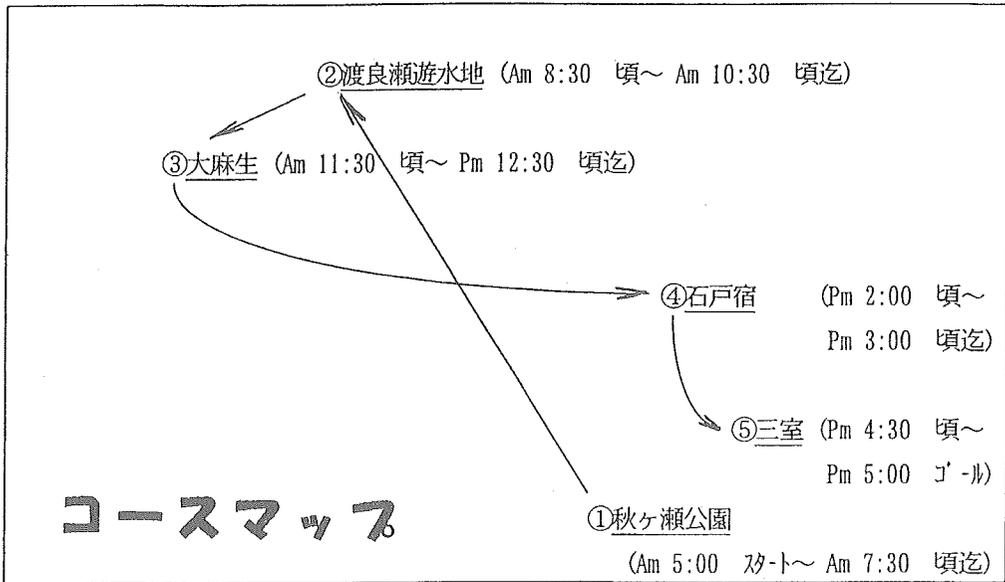
ドライバー：兼元義裕



鳥情報があると、一日中車で探しに行くバイタリティー。支援ドライバーに最適。白馬など担当。

ナビゲーター：橋口長和

バードソン支援部隊としての過去の経験に期待が集まります。実行力のある理論派。今回の編集会議に顔写真が間に合いませんでした。謎の覆面バードウォッチャーです。



[当日のコースは]

コースマップの通りです。そして、各地のサポートリーダーは、

- ①浦和・秋ヶ瀬公園 新堂克浩
- ②北川辺町・渡良瀬遊水地 内田孝男
- ③熊谷・大麻生 和田康男
- ④北本・石戸宿 永野安彦・京子
- ⑤浦和・三室 楠見邦博

という、そうそうたる皆さん。大麻生では、探鳥会に合流する予定です。各地でのチャリダーによる応援、差し入れいろいろ、拒みません。どうぞお集まりください。

[里山とは]

昔から日本人の暮らしと共にあった、竹やぶ・雑木林・小川・田んぼ・谷戸・原っぱなど、「人里」と「奥山」の間に位置して、人と自然が共生する、バランスのとれた親しみやすい環境です。

社会構造や生活形態が変化して、いつのまにか私たちの暮らしから遠ざかってしまった里山は、今急速に姿を消しつつあります。里山を守る法律も整備されていません。

野鳥の繁殖地・越冬地として重要であるだけでなく、小動物・昆虫・草木など、多様な生物の生息環境であり、私たちの生活圏にもつながる里山は、「原生自然」と共に保護すべき、大切な自然です。

[目標種類数は]

大切な里山を守るために少しでも力になりたいと、メンバーたちは一日走り回ります。今までの実績を見ると、1993年=72種、1994年=73種、1995年=55種でした。平均をとって66種を目標数としたいところですが、各地のサポートリーダーたちの予想では、58種位になるのではないかという意見もあります。

[募金のお願い]

『野鳥』誌を購読されている会員には、3月末に届く3・4月合併号に、申し込み用紙が同封されます。

過去5年間に1回でも募金をいただいた方には、別途郵送でご案内用紙が届けられる予定です。

各探鳥会では、リーダー達が申し込み用紙を準備しています。

どの方法で、どの用紙でも結構です。

面倒な人は前記②の定額法で、その場でその金額を担当者に渡してしまうのが、最も簡単でしょう。

本来のバードソンのルール通りに楽しみたい方は、前記①の方法で申し込んで下さい。その場合は、後日いくらお送りいただくかのご連絡が、バードソン事務局から届きます。

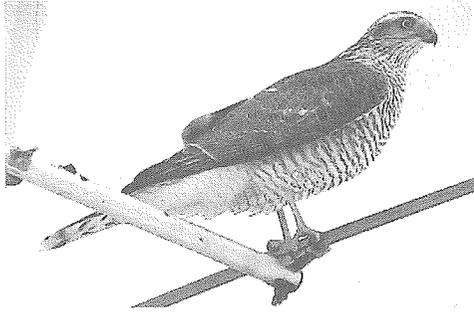
どうかよろしくお願ひします。

(執筆・藤掛保司+編集部)

1996年秋

埼玉県のタカの渡り

日本野鳥の会埼玉県支部研究部



ハイタカ (佐藤 進)

はじめに

1996年9月29日(日)、サシバを中心とするタカの渡り調査が行われました。移動性高気圧におおわれた晴天が前日から続きました。

調査結果

本年は、県内のタカの渡りの主要ルートである丘陵地帯と低山地帯の境界付近、JR八高線の周辺に北から三ヶ所の調査地(表1)を設定し実施しました。前日の28日が、気圧配置などの条件から渡りに最適の日だったため、天覧山の9/28データに見るように250羽が渡りを終え、当日は大幅に減少した結果となりました。

おわりに

調査当日、30余名もの会員の皆様の御協力をいただきありがとうございました。

(小荷田行男)

表1 調査状況

調査地	市町村名	調査者	調査日・時間	天気
堂平山	都幾川村	小荷田行男	9/29	晴のち 薄曇り
		他4名	8:30~12:30	
物見山	東松山市 鳩山町	榎本秀和	9/29	晴
		他9名	9:00~12:00	
天覧山	飯能市	佐久間博文	9/29	晴
		他	9:00~13:00	

表2 1996年秋のタカの渡り調査結果

調査地	ハチクマ	トビ	オオタカ	ツミ	ハイタカ	ノスリ	サシバ	ハヤブサ	オオノボリ	オオノボリ	計
堂平山	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	5
物見山	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	5
天覧山(9/29)	1	0	1	0	0	0	4	0	1	0	7
(参考)天覧山(9/28)	8	0	1	1	2	0	238	0	0	0	250

表3 各年のタカの渡り本調査日におけるサシバの数

年	月/日	天気	金鑽神社	鐘撞堂山	堂平山	物見山	白金平	高指山	天覧山	堀の内	浦和見沼
1986	10/5	晴	-	6 (9/23 31)	-	-	-	52	-	-	-
1987	10/4	快晴	-	4 (9/23 31)	-	28	(10/3 6)	149	-	-	-
1988	10/2	曇	-	10 (10/1 150)	-	19	0	1	-	-	-
1989	10/1	晴	-	25 (9/23 105)	-	100	14	79	150	-	-
1990	10/10	快晴	1	(9/23 19)	-	-	-	-	2	-	-
1991	9/29	晴の曇	13	34	-	29	-	21	151	-	-
1992	9/27	快晴	7	21	6	10	-	-	31	17	-
1993	9/26	快晴	-	19	45	3	-	-	73	0	-
1994	9/25	晴の曇	-	15	0	0 (10/2 122)	-	-	30	-	-
1995	10/1	晴	-	0	0	57	-	-	84	-	14
1996	9/29	晴	-	-	0 (9/22 5)	1	-	-	4 (9/28 238)	-	-

(注1) : 1990年は本調査日が悪天候のため10/10のデータを示した。

(注2) : ()内は各年における最大値とその観察日を示す。



拡大評議員会で議長を務める松井支部長（左）

ハイチュウに乾杯

内田 泰男（茨城県）

春めいた日が続いています。先日工藤さんより、5月11日のバードソンのサポーターの依頼を受け、喜んで引き受けました。

さて、春を前に、ヨシ刈りが進んでいる渡良瀬遊水地、今冬の話はやはりほぼ確実に観察できる、猛禽の貴公子、ハイイロチュウヒ♂です。巷の噂では3個体いるらしく、（♀は5個体。）日の入り1時間前位から、日没にかけて、ねぐら入りが観察できます。

ハイイロチュウヒ♂は、色々な図鑑で紹介されているように、上面から見ると灰色の地に、初列風切外側6枚の黒と上尾筒の白が全体としてそれぞれの位置でうまく調和して、その色合いがなんとも芸術的です。下面からもしかり。胸あたりから頭にかけての灰色、腹と脇の白、そして風切の黒、すばめた一對の黄色の足指…。

ヨシ原を睨む、鋭い黄金色の眼光が、夕陽に輝いて観察できたらもう最高です。家に帰ってハイチュウに乾杯！

『気ままにバードウォッチング』74頁、チュウヒの絵がありますが、まさにこの場所。北エントランスから東に500m位行き、左折してちょっと行った所で、夕陽を背に、東側のヨシ原を見る形が落ちて着いていいです。

3月の彼岸に行われる、ヨシ焼きまで、もう少し。もう見た人は又、まだの人はぜひ、観察して下さい。

第2調整池が開発中止になったとはいえ、遊水地は建設省により、少しずつ変えられようとしています。これからも鳥達とともに、考え、見つめていきたいと思ひます。

伊豆沼探鳥会

大坂 幸男（上尾市）

吹雪で双眼鏡が曇って何も見えない。土手を蕪栗沼の方へと進むと雪が小降りになってベニマシコの出現。沼（水）に接近してタゲリ・オオハクチョウ・マガンを確認できる。土手に戻る途中、後方にトビ・ケアシノスリの飛翔が見えた。枯れ草の中からキジの♂が飛び出した。瀬峰に行くタクシー待ちの時は猛吹雪になっていた。

新田に帰ってきたときには雪はまた小降りになっていた。伊豆沼へガンの帰りを seen に新田観察舎まで行く。手前の小さい沼にオオハクチョウとオナガガモの大群がいたが、餌付けされていて人懐っこく可愛い。観察舎の屋上からミコアイサなどカモ類を眺めながらガン達の帰りを待った。夕暮れ近くなって、空の彼方からガンの大群が続々と飛んできて、ガガガと啼きながら着水する。実に素晴らしい感動を覚える一瞬、時を忘れる情景でもある。

翌朝、日の出と共に一斉に飛び立つガンを見る。その姿と羽音は実に壮観である。その余韻を残して内沼に向う。

内沼では伊豆沼で会ったカモ達の他にバン・アオサギがいた。土手を伊豆沼へと歩き出す、ノスリ・カワアイサの群れ、ホオジロガモを見る。そのうちにオジロワシが出現する。悠然と弧を描いての飛翔に感動する。昨日の吹雪の辛さなど一遍に吹き飛んだ。これで今回は素晴らしい探鳥会として記憶に残ることだろう。

シギ・チドリ類県内一斉調査

期日：4月29日（火・祝）

埼玉県支部では、春と秋の2回、独自のシギ・チドリ類の調査を行っています。特に下記の地点では、より多くの会員の参加とご協力をお願いいたします。

◆秋ヶ瀬（浦和市・大宮市）

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角 付近の土手の上、グラウンド入口。

担当：石井 智

解散は昼ごろの予定。雨天でも行います。調査のため参加費は不要です。

ハジロカイツブリ ◇1月24日、北川辺町の渡良瀬遊水地で2羽(樋口信之)。
 ミミカイツブリ ◇1月17日、久喜市の菖蒲公園昭和池で1羽(樋口信之)。
 トモエガモ ◇1月17日、昭和池で♂4羽♀1羽(樋口信之)。◇1月18日、滑川町の森林公園で♀1羽(樋口信之)。◇1月24日渡良瀬遊水地で♂5羽♀2羽(樋口信之)。
 ヨシガモ ◇1月17日、昭和池で♂1羽(樋口信之)。◇1月24日、渡良瀬遊水地で♂5羽(樋口信之)。
 ヒドリガモ(部分白化) ◇1月15日、志木市の柳瀬川、高橋〜栄橋間で顔から首にかけての一部が白い♂1羽(ガンカモカウント調査組)。
 アメリカヒドリ ◇1月11日、渡良瀬遊水地で♂1羽(樋口信之)。
 アカハジロ ◇12月29日、戸田市道満の彩湖で♀1羽(黒木昭雄、増尾隆・節子)。
 ホオジロガモ ◇1月11日、渡良瀬遊水地で♀2羽(樋口信之)。
 ミコアイサ ◇1月24日、渡良瀬遊水地で♂25羽♀30羽(樋口信之)。
 カワアイサ ◇1月11日、渡良瀬遊水地で♂9羽♀3羽(樋口信之)。
 オオタカ ◇1月11日、渡良瀬遊水地で1羽(樋口信之)。◇2月16日、川越市安比奈新田の入間川で1羽。対岸の地上から樹上へ移り休息(上野英士郎・恵美子)。
 ノスリ ◇2月15日、川本町の荒川斜面林で1羽(小林ますみ)。
 ハイロチュウヒ ◇2月7日渡良瀬遊水地で♂2羽♀2羽。♂2羽は午後5時30分頃、暗くなったアシ原を飛び交い、まことに幻想的(秋間利夫)。
 クイナ ◇12月8日、富士見市水子の柳瀬川左岸のアシ原で2羽(中村治)。◇1月31日、幸手市木立の中川で2羽(秋間利夫)。
 オオバン ◇1月17日、昭和池で3羽(樋口信之)。
 コチドリ ◇1月、鴻巣市の糠田排水機場の

干潟状になっている所で2羽(石井智)。
 シロチドリ ◇1月24日、渡良瀬遊水地で1羽(樋口信之)。
 ケリ ◇1月5日、菖蒲町の田んぼで1羽。同所で6日、6羽。16日、4羽。19日、3羽(樋口信之)。
 ハマシギ ◇2月15日、川本町の荒川で約20羽(小林ますみ)。
 ヤマシギ ◇1月11日、浦和市大谷口の旧家付近で1羽。地面にじっとしていた(金子桂子)。◇1月29日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。◇2月12日、幸手市権現堂堤で1羽(秋間利夫)。
 タシギ ◇1月、糠田排水機場の干潟状になっている所で2羽(石井智)。
 ヒメアマツバメ ◇2月1日、彩湖で4羽。ずっと湖の上を飛んでいた。この辺りで越冬か(金子桂子)。
 アオゲラ ◇1月18日、森林公園で♂1羽(樋口信之)。◇1月31日、北本市石戸宿の北本自然観察公園で♂1羽(小林ますみ)。◇2月3日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥の森で1羽(芳川伸一・リリィ)。
 アカゲラ ◇1月1日、毛呂山町旭台の雑木林で♂1羽。頭中央の赤色が鮮やか(増尾隆・節子)。◇1月18日、森林公園で1羽(樋口信之)。◇1月19日、深谷市の仙元山で♀1羽(村岡浩・敬子)。◇1月31日、北本自然観察公園で3羽(小林ますみ)。
 ビンズイ ◇2月1日、蓮田市黒浜の運動公園で10羽。松の木の下で採餌(玉井正晴)。◇2月7日、大宮市日進1丁目で4羽(森本國夫)。
 キレンジャク ◇1月31日、北本自然観察公園で8羽(小林ますみ)。
 カヤクグリ ◇2月8日、所沢市荒幡のいきものふれあいの里センターで1羽(小林ますみ)。
 ルリビタキ ◇1月18日、森林公園で♂5羽♀1羽(樋口信之)。◇1月26日、仙元山で♀1羽(村岡浩・敬子)。
 トラツグミ ◇1月25日、仙元山で1羽(新井巖)。◇2月3日、秋ヶ瀬の野鳥の森で1羽。草原でツグミと離れて1羽。地面を

つつきながら採餌（芳川伸一・リリィ）。
 アカハラ ◇2月13日権現堂堤で1羽（秋間利夫）。
 シロハラ ◇2月13日、権現堂堤で1羽（秋間利夫）。
 キクイタダキ ◇1月18日、森林公園で約5羽（樋口信之）。◇2月1日、蓮田市江ヶ崎の療養所裏の雑木林で6～7羽。ヒガラ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロと混群（玉井正晴）。◇2月7日、大宮市日進1丁目で2羽（森本國夫）。
 エナガ ◇1月18日、森林公園で約10羽（樋口信之）。◇1月19日、仙元山でコゲラ、メジロ、シジュウカラ、ヒガラと混群（村岡浩・敬子）。
 コガラ ◇2月18日入間市の桜山サイクリングロードでシジュウカラ、ヒガラ、メジロ、ゴジュウカラ、コゲラと混群（小林ますみ）。

み）。
 ヒガラ ◇1月17日、昭和池で約10羽（樋口信之）。
 ミヤマホオジロ ◇1月12日、2月8日、秋ヶ瀬のピクニックの森で。（渡邊光行）。
 ◇1月26日、仙元山で5羽（村岡浩・敬子）。
 アオジ ◇2月3日、秋ヶ瀬の野鳥の森で、群れていた（芳川伸一・リリィ）。
 クロジ ◇1月18日、森林公園で♂1羽（樋口信之）。
 マヒワ ◇1月1日、坂戸市西坂2丁目の雑木林で約30羽（増尾隆・節子）。◇2月3日、秋ヶ瀬の野鳥の森で30～40羽（芳川伸一・リリィ）。◇2月3日、蓮田市黒浜の療養所横の草地で約20羽。枯草の実を盛んに食べていた（玉井正晴）。◇2月18日、桜山サイクリングロードで♂2羽♀1羽（小林ますみ）。

表紙の写真

アビ（アビ科）

カラスの鳴かない日があっても、ツアイスを手にしな日はないという私は、今回は冬の北海道に1月15日～20日の間行き、道東を中

心にまわって、オオワシ、オジロワシ、アビ、ウミガラス、ケイマフリなどを撮影してきました。 佐藤 進（大宮市）

*****はみ出し行事案内*****

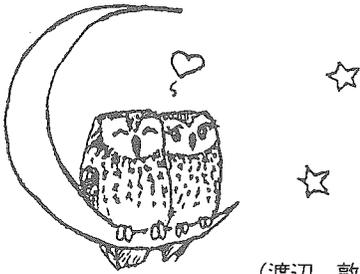
東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：5月16日（金）夜行～18日（日）
 集合：16日20時 JR山手線浜松町駅（東京駅寄り改札口前）
 帰着：東京港に18日19時20分ごろの予定
 費用：23,000円の予定（1泊3食、特2等往復船賃、保険料等）。他に現地でのバス代若干。万一過不足は当日精算。
 定員：18名程度（先着順、支部会員優先）
 申込み：普通葉書で榎本秀和（〒114 東京都葛飾区新小岩1-1-1）まで。乗船者名簿記入のため住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号は必ず明記してください。
 担当：榎本、長谷部
 見どころ：島の森と海辺を巡る魅力溢れる鳥見の旅。帰路の船上探鳥も楽しみです。
 注意：16日は船中泊（ごこ寝）。宿は男女別の相部屋です。個室はありません。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会（要予約）

期日：5月24日（土）～25日（日）
 集合：24日午前10時 JR長野駅改札口前
 交通：特急「あさま1号」（上野7:00→大宮7:22→高崎8:10→長野9:51着）、または普通電車（高崎7:13→長野9:27着）
 費用：10,500円の予定（1泊3食、現地バス代、保険料等）万一過不足の場合は当日精算。集合地までの往復交通費は各自負担。
 定員：30名（先着順、県支部会員優先）
 申し込み：往復葉書に住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、菱沼一充（〒388 長野県上田市長沼1-1-1）まで。
 担当：菱沼(一)、岡安、北川
 見どころ：キビタキ、オオルリ、クロツグミ、コルリの声と姿を求めて、さあ出発！夜のソバと地酒もお楽しみに。
 注意：宿は左と同様です。

行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月6日（日）
集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乗してください。
担当：岡安、榎本、内藤、立岩、永野（安）、永野（京）、逸見、川那辺、島田、高、大坂
見どころ：お花見はまだ……と言う方にぜひお勧めの探鳥コース。浦桜〔日本五大桜の一つ〕も見ごろです。花見の賑わいの中で鳥たちも頑張っています。あとは穏やかな晴天を願うのみです。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<見沼ヘルシーロードコース>
期日：4月6日（日）
集合：午前9時 浦和市くらしの博物館民家園駐車場
交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、大崎園芸植物園行き8:36発に乗車、念仏橋下車
後援：浦和市くらしの博物館民家園
担当：手塚、伊藤、笠原、工藤、新堂、吉岡、若林、倉林
見どころ：野辺は麗らかな春景色であふれています。鳥は歌い桜は満開で、この季節ならではの贅沢な探鳥コースです。そんな見沼周辺にぜひ足を運び、皆で春を楽しみましょう。

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：4月13日（日）
集合：午前8時 JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地へ。
担当：福井（恒）、楠見、伊藤、小林（み）、倉林、笠原、嶋田、羽石
見どころ：この地の魅力は、開けた地形の中で色とりどりの鳥が楽しめること。なに？ まだ行ったことがない？ それでは今日は此処に決まりですね。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月13日（日）
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：株父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車
担当：和田、森本、榎本、町田、岡安、小池、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本
見どころ：春爛漫、土手には桜、足元にはオオイヌノフグリ可憐な花などがいっぱい。の早い季節。大麻生の春の鳥ニューナイスズメを探して歩きましょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月20日（日）
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼

元、森

見どころ：4月といえば桜ですが、定例第3日曜日なのでいつも遅い花見か葉桜です。去年は21日だったので若葉を見に片柳の斜面林を歩きました。もう鯉のぼりも揚がっていました。もちろん鳥も賑やかですからどうぞ！

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：4月25日（金）

集合：午前8時 JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地へ。または8時45分 ピクニックの森駐車場

担当：櫻庭、松井、中村（栄）、兼元

見どころ：平日探鳥会本年第2弾！夏鳥のシーズンになりました。此処の森は大切な渡りの中継地。オオルリ、キビタキ等との対面に期待をしてピクニックの森や子供の森を歩きましょう。平日は鳥見に最高だ！

『しらこぼと』袋つめの会

とき：4月26日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月27日（日）

集合：午前8時30分 東武伊勢崎線春日部駅西口東武バス1番バス停前、集合後バスで現地へ。または午前9時15分 アスレチック公園前駐車場

担当：吉安、中村（栄）、篠原（東）、入山、橋口、松永

見どころ：新緑の雑木林の中を歩きましょう。渡り途中の夏鳥に期待がかかります。田植え間近のたんぼでは、ムナグロに会えるかも知れません。身近な処にも鳥はいます。そんな鳥たちを観察しましょう。

東松山市・物見山探鳥会

期日：4月27日（日）

集合：午前9時30分 物見山駐車場

交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス

鳩山ニュータウン行き8:56、9:12発で「大東文化大学前」下車、バス進行方向へ徒歩約5分

担当：内藤、榎本、岡安、藤掛、逸見、島田
見どころ：今年が例年より早かったので、きっとその分だけ新緑も豊かでしょう。森を抜けると山峡に田圃が広がるのどかなコースです。渡り途中の夏鳥や、猛禽類に会えると嬉しいですね。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：5月5日（月・祝）

集合：午前9時15分 京葉線南船橋駅前

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:11→南浦和8:14→南越谷8:26→終点下車

担当：杉本、佐久間、手塚、長谷部、伊藤、篠原（東）

見どころ：干潟が1年のうちで最も華やかになる季節、羽を休めている渡り途中の夏羽のシギ・チドリを観察します。

長野県・白馬山麓探鳥会（要予約）

期日：5月10日（土）～11日（日）

集合：10日午前7時30分

JR高崎線本庄駅改札口付近

交通：往復とも27人乗り観光バスを利用

費用：19,000円の予定（バス代、1泊2食付き宿泊費、弁当代、保険料、懇親会費）万一過不足は当日精算。

定員：22名（申し込み者多数の場合は抽選）

申し込み：往復葉書に住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、町田好一郎（ ）まで。

〆切りは4月14日消印まで有効。

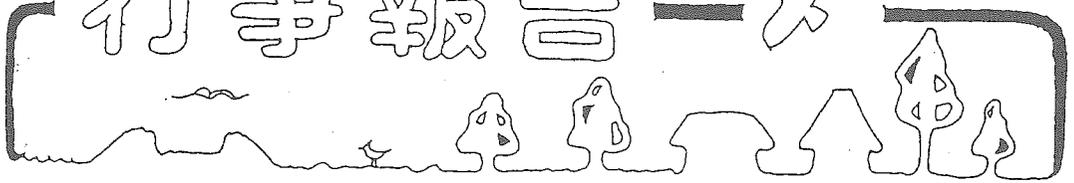
担当：町田、小池、岡安

見どころ：3回目になったバスツアー、宿はおなじみの「にほめの一步」。渡って来たばかりのクロツグミ、オオルリ、キビタキ、コマドリなどを探鳥。残雪の白馬、温泉も魅力！往復のバスで「野鳥のビデオ」も満喫できます。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室はありません。

●7ページに「はみ出し行事案内」

行事報告



1月5日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加: 51人 天気: 晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カワアイサ トビ ノスリ チュウヒ キジ タゲリ ハマシギ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (49種) 新年の挨拶がにぎやかに交わされながらスタート。湖面に波一つない好天。カモ類は13種を数え、葦原には例年になくベニマシコが多かった。タカ類はややさびしかったものの、観察種は50種に迫り、無事終了した。(新堂克浩)

1月12日(日) 千葉県船橋市 船橋海浜公園

参加: 46人 天気: 快晴

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ カルガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ ホオジロガモ ウミアイサ チュウヒ ハヤブサ ミヤコドリ ハジロコチドリ シロチドリ ダイゼン ハマシギ ミユビシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ メジロ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ (33種) 約5万羽のスズガモが広がっている海。海岸に出るとすぐハヤブサの♂♀、チュウヒが出現し、約3千羽のハマシギが逃げまどう。冬の三番瀬はスケールの大きな自然。参加者は楽しい思い出を残せただろう。(杉本秀樹)

1月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 41人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ イソシギ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 12月末野焼きが行われたことで環境は良くなかったが、集合地点で早くもオオタカが舞い、途中ではジョウビタキが数回にわたり出現。最終地点の明戸堰ではカワセミがスコープの視界に2羽も入る大サービスに皆大喜びだった。終わってみれば出現鳥は何と40種。冬の大麻生はやっぱりすごい!(和田康男)

1月12日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 29人 天気: 快晴

コサギ チョウゲンボウ コジュケイ タゲリ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 池の周りでジョウビタキ♀、セグロセキレイ、モズをじっくり。田圃ではタゲリの群れを見付け皆大喜び。林の中でジョウビタキ♂、カケスを確認。柵の奥でシロハラ、シメが交互に出てきて、盛んに採餌しているところをじっくり見る。田圃に戻ると、タゲリの群れが間近に見えて、また感激。過去最高の30種を観察。(吉安一彦)

1月19日(日) 吉見町 吉見百穴周辺

参加: 55人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハ

ジロ オオタカ キジ イカルチドリ タゲリ
 イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキ
 レイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
 モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メ
 ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒ
 ワ マヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス
 ハシボソガラス (40種) 少し風はあったが、市野
 川沿いのコースを歩いた。短大脇を登った所で、
 採餌に夢中のマヒワの群れ (10+) に出会う。鮮
 やかな黄色を全員で堪能。大沼では、600羽程の
 カモの中に、誰かがオシドリの♀を見つけ、担当
 リーダー興奮ぎみのうちに探鳥会は終了となる。

(榎本秀和)

1月19日(日) 浦和市 三室地区

参加: 59人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ
 トビ チョウゲンボウ バン タゲリ タカブシ
 ギ イソシギ タシギ ユリカモメ セグロカモ
 メ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ
 セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジ
 ョウビタキ シロハラ ツグミ シジュウカラ
 メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラ
 ヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス (35種) 今年も初心者が楽しむ探鳥会、
 ベテランの方々、鳥談議や顔合わせをする探鳥
 会にしたいものです。年始めて初心者の参加者も
 多く、空にトビ、チョウゲンボウが飛び、芝川で
 はカワセミの飛翔。お目当てのタゲリの1羽を追
 いながら、見沼たんぼを行ったり来たり探鳥会
 でした。

(楠見邦博)

1月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13人

新井良夫、海老原美夫、江浪功、尾崎甲四郎、工
 藤洋三、佐久間博文、篠原東彦、直井麻維子、中
 村榮男、野田政子、森力、安原久子、谷津弘子

1月26日(日) 狭山市 入間川

参加: 27人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ
 カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ
 ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ コ
 ジュケイ イカルチドリ イソシギ タシギ ユ
 リカモメ キジバト カワセミ アオゲラ コゲ
 ラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ビ

ンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ
 ウグイス セッカ ヒガラ ヤマガラ シジュウ
 カラ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤマホ
 オジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ シ
 メ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
 ハシブトガラス (47種) 今回の出現鳥47種は、入
 間川探鳥会の新記録。カワセミやビンズイなどこ
 この名物は全員で見ることができたものの、少人
 数での確認種も多い。初登場のミヤマホオジロも
 3人だけの確認であった。その3人は皆リーダー。
 みなさん見たかっただろーなー。(長谷部謙二)

2月1日(土) 大宮市 花の丘

参加: 36人 天気: 晴

オオタカ タゲリ キジバト アカゲラ コゲラ
 ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジ
 ョウビタキ ツグミ ヤマガラ シジュウカラ
 メジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズ
 メ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス
 ハシブトガラス (23種) 西新井の森に入る直前、
 農家の小屋前でルリビタキのメスを10分以上観察
 できた。森の中ではアカゲラの声、コゲラ、ヤマ
 ガラ、シジュウカラの混群を観察。最後にオオタ
 カが頭上を飛んでくれ、探鳥会を締めくくった。

(櫻庭 勇)

2月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 63人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ
 コガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ
 キジ クイナ バン キジバト カワセミ アオ
 ゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロ
 セキレイ ヒヨドリ モズ レンジャクsp ルリ
 ビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグ
 イス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ
 ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラ
 ヒワ マヒワ ベニマシコ ウソ シメ スズメ
 ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガ
 ラス (45種) 北里の森入口でウソの群れを全員で
 見てから出発。ふれあい橋の上からベニマシコと
 マヒワを観察。滑り出しが好調だとすべてがうまく
 いく。それからは小鳥、ワシタカ、キツツキも
 続々登場して全員大満足。最後は高尾の池のクイ
 ナを見て終了。有志から預った8300円は日本野鳥
 の会OBIC募金に送金したので報告します。

(岡安征也)

連絡帳

●第19回関東ブロック協議会

2月1日(土)～2日(日)の2日間、栃木県支部が担当して小山市内で開催され、埼玉県支部からは海老原美夫副支部長と福井恒人幹事が出席。分科会では、『野鳥』誌の内容、支部活動の充実、支部の事業活動について話し合い、2日目は渡良瀬遊水地を現地視察して、保護アピールを採択しました。

●核都市広域幹線道路に反対する市民集会

当支部も賛同団体として名を連ねた集会在2月8日(土)に開催され、狭山丘陵や見沼たんぼの自然を破壊するおそれのある道路計画に反対し、「脱クルマ社会」を目指す集会宣言が採択されました。

●第19回評議員会

3月1日(土)～2日(日)の2日間、都内大田区に全国からの代表者約200名を集めて開催され、海老原美夫評議員と、オブザーバーの松井昭吾支部長・藤掛保司幹事が出席。海老原評議員は、評議員制度検討委員会副委員長として検討結果を報告し、松井支部長は拡大評議員会全体会議の議長をつとめました。

●幹事・会員らが各地で活躍

1月11日(土)川本町荒川河原で寄居町児童館主催の野鳥観察会が開催され、小池一男幹事が指導しました。

1月12日(日)深谷市青年の家主催の「環境と自然を考える講座」では、小池幹事が講演した後、仙元山で岡安征也・町田好一郎両幹事とともに、野鳥観察の指導をしました。

2月23日(日)坂戸市鶴舞団地自治会の高麗川改修勉強会主催の第2回野鳥観察会が開催され、増尾隆・増尾節子・黒木昭雄・坂口稔・坂口和子会員らが指導しました。

●高等学校開放講座のご案内

主催：埼玉県

期間：5月14日(水)～平成10年1月14日(水)

(原則として期間内の水曜日に計8回開催)

場所：深谷第一高等学校

内容：バードウォッチング入門

講座担当：小池一男(支部幹事)

定員：先着順20名

教材費：1,400円

申込み：往復葉書に住所・氏名・年令・電話番号を明記して、4月30日(当日消印有効)

までに、366 深谷市常盤町21 深谷第一高等

学校開放講座係へ。(TEL0485-71-3381)

●4月の事務局 土曜と日曜の予定

12日(土) 編集会議、研究部会議。

19日(土) 校正作業。

26日(土) 袋づめの会。

●会員数は

3月3日現在2,823人です。

活動報告

2月15日(土) 3月号校正(海老原美夫、喜多峻次)。

2月16日(日) 役員会議(司会：吉安一彦、4～8月の行事予定・平成10年開催予定の次々回関東ブロック協議会の当支部担当について・その他)。

2月17日(月) 浦和市内で開催された県自然保護課主催の傷病野生鳥獣里親研修会に出席(松井昭吾支部長)。

編集後記

引っ越しをしました。部屋の中はダンボールの山。その山をくずしながら、かろうじて空いたスキマで暮らしています。しかし、勤務先まではたったの10分。良かった、良かった。(山部)

編集会議の隣では、今日は研究部員が5人も集まって、昨年の夏鳥調査の集計などを行っている。先月寂しそだった人も、幸せな顔をしている。(海)

『しらこぼと』1997年4月号(第156号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)